

## はじめに

甲府のまちは、500年もの長きにわたり山梨の政治や経済などの中心として発展を続けてまいりました。しかしながら近年では、今までに経験したことのない人口減少・少子高齢化などの社会構造の変化やライフスタイルの多様化、そして、大規模地震・大型台風・大雪などによる自然災害の発生に加え、地球環境問題の深刻化など、私たちを取り巻く環境は大きく変動しており、このような課題へ適切に対応していくことが求められております。



一方では、リニア中央新幹線の開業に伴い本市南部への新駅設置、中部横断自動車道、新山梨環状道路など高速交通体系の整備が進められており、本市では、こうした都市基盤の整備と時代の潮流を的確に捉え、成長を加速するチャンスをつかむとともに、将来を見据えた長期的な視点を持ちつつ、創意工夫を加えながら計画的な土地利用を推進するため、「甲府市都市計画マスタープラン」を策定しました。

本計画は、20年後の甲府市の姿を見据えた10年計画とし、目標年次を2027年のリニア中央新幹線の開業年とする中で、目指すべき将来都市構造を「集約と連携による持続可能な都市構造」と決めました。

この将来都市構造は、都市機能の集約等を進める都市のコンパクト化と、公共交通網をはじめとするネットワークの構築によるコンパクトシティの形成を基調とし、居住や都市機能の集積による効率的な生産性の向上により、市民の生活利便性の維持向上、地域経済の活性化、行政コストの削減、自然環境への負荷の低減などを実現するための新たな一歩を踏み出すものとなっております。

今後は、この計画を市民の皆様と共有するとともに、連携・協働して各種施策に取り組むことにより、未来に向けて活力を高め、次世代へ確実に引き継ぐため、常に成長を続ける「元気な甲府」を育ててまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見やご提言をお寄せくださいました市民の皆様をはじめ、多大なご尽力を賜りました都市計画審議会専門委員会委員並びに関係各位に心から感謝を申し上げます。

2018年3月

甲府市長 樋口 雄一